

金秀鉄工  
～鋼橋仮組見学～

平成28年7月20日

# ～橋の全体写真～

今回見学させていただいたのは  
現場で本当に鋼橋が設置できるか  
確かめるための「**仮組**」といわれる  
段階でした。



# 橋の外側の 「ココ」がポイント！！



溶接ではかなり高温になるため  
変形しないように  
板で補強をしています。  
溶接が終わると切り取られます。



メンテナンス時、  
人が通れるための  
穴が開いています。



溶接部が交差すると  
橋の弱点になってしまうため  
あえて交差しないように工夫  
されています。



「エンドタブ」という名前です。  
これも溶接部が弱点にならないように  
工夫されています。  
これも溶接が終わると切り取られます。

# 橋の内側の 「ココ」がポイント！！



塗装がはがれにくいように、  
また溶接が簡単になるようにするために  
あえて斜めに切断してあります。



力がかかる場所によって補剛材が  
ついてる場所が違います。



緻密な計算の上でボルトをつける位置や数が変わってきます。仮組なので必要最低限しかボルトはつけません。

# ～図面を用いての講習風景～



～終わり～

金秀鉄工様ありがとうございました。

